



碧南ロータリークラブ週報

第2535回例会 平成23年2月16日(水)

● 会長 奥田 雪雄 ● 幹事 新美 宗和 ● 会場監督 (SAA) 伊藤 正幸

2010-2011年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90
TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
ホームページ: [http:// www.hekinan-rc.jp/](http://www.hekinan-rc.jp/)
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 会報委員 新美雅浩・鈴木健三・西脇博正・菅原 優



● 齊 唱

ロータリーソング「今日も楽し」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

碧南市総務部経営企画課 課長 金沢宏治様

会 長 挨拶

はじめに、2月12日(土)に開催された西三河分区インターシティミーティングのご参加を頂き、ありがとうございました。

まだまだ、寒さが続いておりますが、服部嵐雪の歌った、

梅一輪 一輪ほどの あたたかさ

の歌のごとく、梅の花が一輪、また一輪と咲くたびに、少しずつ暖かくなって春が近づいてまいります。それまで、お風邪などおめしにならないよう、ご注意くださいませ。



奥田雪雄会長

さて、本日は2012-2013年度のガバナー補佐として、私どもの友人であります、加藤良邦君が理事会において承認されましたことをご報告申し上げます。良邦君にとりましては大変な気苦労と存じますが、快くお引き受け下さいましたこと、心より感謝申し上げます。また、良邦君の手足となるべく側近として地区幹事、副幹事2名ほどご本人からいずれ指名されると思います。恐らく、和尚のことですから、孔子の教えにもありますように人情に厚く、父母や目上の人にはよく仕える、いわゆる孝弟の道をわきまえ、親兄弟を大切にする心のある人を選ばれると思います。そういったお人は、決して不始末を生じ、破綻を起こす心配のない方々であります。彼の意を汲んでいただき、即座にお引き受け下さいますよう、和尚になり代わりお願い申し上げます。また、碧南ロータリアンの皆様にも絶大なる御支援、御協力をお願いをさせて頂き、本日のお話を終わらせて頂きます。ありがとうございました。

幹 事 報 告

・例会変更等は幹事報告書のとおりです。



新美宗和幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数71名(内出席免除者16名の内出席者11名)出席者53名

出席対象者 53/65名 出席率 81.54%

欠席者18名(病欠者1名) 前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

〈ニコボックス委員会〉

長田 豊治君 I. M.にて碧南クラブの自慢話を発表させて頂きました。ありがとうございました。

奥田 雪雄君 インターシティミーティングへの御出席ありがとうございました。
加藤良邦さん、2012～2013年度ガバナー補佐、大変ですがよろしく願います。

角谷 信二君 昨日、杉浦栄次君にお世話になりました。少し疲れしました。

長田 和徳君 卓話の講師を紹介します。

黒田 泰弘君 町内会の最後の大事業が無事終わりました。関係者の皆様には御礼申し上げます。

卓話

「第5次碧南総合計画について」 碧南市総務部経営企画課 課長 金沢 宏治氏

ただ今、ご紹介いただきました 碧南市役所 総務部経営企画課長
金沢宏治です。どうぞ よろしく願い申し上げます。

まず、このように、碧南ロータリークラブの会員の皆様方の前でお話をさせていただく機会をいただきまして、真にありがとうございます。
お礼を申し上げます。

本日私からは「第5次碧南市総合計画」についてのお話をさせていただきますが、私のような若輩者でありますので面白いお話などできるわけがありません。甚だ屈なお時間になろうかと思っておりますがよろしくお願い申し上げます。

実はこの総合計画の策定にあたりましては、市民の代表の方々と構成する総合計画審議会という会議に、市長より諮問をいたしまして、審議会から答申をいただき策定をしたという経緯がございます。その総合計画審議会の会長が、前商工会議所会頭の黒田昌司様でありまして、委員には、鈴木並生様、樫山善久様、山中寛紀（ひろみち）様になっていただき、ご審議していただいております。

この場をお借りいたしまして改めて御礼を申し上げたいと思います。

それでは、本日お手元に概要版をお配りさせていただいておりますので、これによりましてご説明いたしますが、

本題に入る前に若干、市における総合計画の位置づけについてご説明させていただきます。

総合計画は、地方自治法という法律で位置づけされており、いわゆる市の最上位計画ということで、市議会の議決も必要とされております。

こうした最上位計画の説明を私が説明するというので、大変荷が重いわけですが、当時課長補佐で直接担当しておりました関係で、ご説明させていただきますので、ご容赦のほどお願い申し上げます。

行政には数多くの計画を策定しておりますが、全てこの総合計画に沿う形で策定するという構造となります。

余談ではありますが、最近行政は多くの計画を策定しております。このご参列の皆様にも各計画の委員となっていただきまして、大変ご迷惑をおかけしているところであります。



国はまず計画ありきであり、その計画が策定していなければ補助金も認めない といったスタンスであります。

これは計画的な行政運営ということで理解はできるわけですが、その期間が3年間などといった大変短いスパンの計画もあるわけです。

この総合計画は、後ほどご説明いたしますが、10年の計画期間でございます。

3年計画の初年度はまだいいのですが、2年目からは次の計画の準備段階に入るわけですが、アンケートや基礎調査などを行い、その翌年度は策定に向けての作業に入らなければならない。ということで、計画ばかりつくっているということに成りかねない状況であります。なんのための計画なのかよくわからないことになりそうなことも実際あります。

もう少しフレキシブルな計画、つまり見直しが必要な部分だけ改定を行い、あとは全計画を踏襲していくことをしなければいけないと思っております。

また、その策定には市職員が行うには難しいことや専門的な分野にわたることについてはコンサルタントをお願いすることがよくあります。禰宜田市長からは、あまりコンサルタントに依存するな、「脳みそから汗が出るほどよく考えろ」ということをいわれます。コンサル出身の市長からコンサルに依存するなといわれてもと内心想っております。ここはオフレコでお願いします。

それでは本題に入っていきたいと思えます。

お手元に配布の概要版の2ページをお開きください。

今回策定した第5次総合計画であります。先ほど若干触れましたが、その計画期間は平成22年度今年度から平成32年度 西暦2020年までの11ヵ年です。

平成20年4月に、禰宜田市政がスタートしたことを契機に新たな総合計画を策定したわけであり。

その将来像として、概要版4ページに記載の「ひとのわで 楽しさつくる みなとまち へきなん」としてあります。

今回第5次ということでありますが、過去の計画の年次とキャッチフレーズを参考までにご紹介させていただきます。

第1次碧南市総合計画、これは、昭和50年～昭和60年の計画期間であります。「たくましい港とゆたかな生活環境の調和ある都市」をめざして

第2次総合計画、昭和58年～平成2年の計画期間であります、「文化と活力ある港湾都市」

第3次計画これは昭和63年～平成12年の計画期間であります、「健康で緑ゆたかな港湾都市」

第4次計画、平成12年～平成22年の計画期間であります、「元気でいこう思いやりと文化のみなとまち碧南」

ということとなっております、いずれも港湾・みなとが使われております。従来より、内陸部にはない、碧南市の特徴である「みなと・港湾」といったものを強調していることがわかります。

この将来像については、禰宜田市長のマニフェストの「市民の皆様と協働して素晴らしい碧南市を作り上げる。」というものと、今まで築き上げてきた住みやすい環境などをさらに発展させ、住むことを楽しめるまちにしていきたいという思いから打ち出したものであります。

この将来像について記載されておりますので、読み上げさせていただきます。

(4ページ「将来像について」を読み上げ)

ここに、この総合計画のエッセンスを凝縮しておりますことをご理解いただきたいと思います。7ページをお開きください。

ここでは「新たなまちづくりに向けた重点的な取組」ということで3つを掲げております。9ページ以降に多くの事業等を掲載しておりますが、そのなかで、重要な方向性を若干具体性を持

たせることでお示しをしているものであります。

1つめは先ほどお話をいたしました「協働へのスタート」であります。

今までは町内会を中心とした住民団体や企業の皆様の協力をいただき行政運営を図って参りましたが、これからは、さらに連携を深めるとともに、へきなん型協働のまちづくり体制を構築し、推進していくこととしております。

具体的な取り組みであります。平成21年4月に市役所の組織を「市民協働部」「地域協働課」を新設いたしました。また、今年度より「協働を考える会」を発足し、この2月20日（日）午前10時には、芸術文化ホールにてシンポジウムを開催し、市長に対して、市民の方々が考えられた、碧南市の市民協働に対する提言が提出される予定です。

是非 皆様方もご来場くださるようお願い申し上げます。

2つめは、「清らかな水と豊かな緑」であります。碧南市は四方を水に囲まれ、自然豊かな環境でありました。一時期、環境悪化や生活習慣の多様化により、悪化したことがありました。

しかし例えば油が淵の水質の浄化については、よく汚いと言われておりましたが、環境省が公表したCODの数値をあくまで碧南市で順位づけしたものであります。平成15年ではワースト3位であったものが、平成21年では21位まで全国比較のなかではあります。改善されてきております。これは周辺の河川の流入における下水道整備における水質の改善や、油が淵自体の浚渫などによるものであります。

こうした自然環境を今後も、市民や企業の皆様、団体、行政がともに考え、守り、育みあうまちづくりを進めていかなければならないとしております。

具体的には県営油が淵水辺公園建設の推進や名鉄廃線跡地の活用による緑道整備、公園の整備などを通じて、更なる水と緑の整備・再生・連携を図っていくことを予定しております。

続きまして、「海への可能性」であります。

ご存知のとおりであります。碧南市は衣浦港・臨海工業地帯の成長とともに発展してきたといえると思います。

衣浦港内の衣浦ポートアイランドは、平成3年8月の衣浦港港湾計画で位置づけられて、平成4年度からは第1期工事分約47haが着手されました。

この衣浦ポートアイランドについては、第3次総合計画から碧南市の将来の発展の大きな核と位置づけ、今計画にも同様に位置づけております。

第1期の上部利用についての具体的な計画はまだまだ先のことでありますが、近年、衣浦港港湾計画これは愛知県が策定するものでありますが、この計画の改訂が予定されております。

皆様におかれましては、衣浦港振興会などで、産業界としての働きかけを実施していただいておりますが、行政としましても、衣浦港港湾計画改定のタイミングに、2号地のあり方、衣浦ポートアイランドの将来的な方向性を入れ込むことができるように、各会議などの開催や計画づくり、愛知県等関係機関への要望など積極的に行っております。

また、衣浦港につきましては、平成22年8月に、国から直轄港湾整備事業の対象となる港湾に選定をされたところであります。これは重要港湾103港のうち、43港に絞られたなかで選定を受けましたが、これも皆様の積極的な働きかけの賜物であります。

今後の市の取組みといたしまして、先ほど若干触れましたが、「みなと賑わい計画」という計画を策定し、1つは衣浦ポートアイランドの活用、もう1つは中央埠頭地区を憩いの空間づくりとすることを中心として、具体的なイメージの検討を図ることを行っております。

以上、簡単ではありますが、総合計画の基本構想部門のご説明をいたしました。

実は総合計画は3つの部門からなる計画であります。

2ページにお戻りください。

今ご説明申し上げました基本構想 一番右下の円錐の水色の部分ですが、碧南市の将来のあるべき姿、漠然ではありますが構想としての考え方であります。ある意味、こうしたいといった夢の部分も含まれて参ります。

2つめの計画がその下の赤い部分「基本計画」でございます。

お手元の資料9ページ以降に記載をしておりますが

これは具体的な事業名をあげ、その目標値を掲げているものであります。全部で530の事業、156の目標指標を掲げております。

本日は、お時間の都合上、この基本計画のご説明は割愛させていただきますが、本冊の計画書には全ての基本事業を掲載しております。

最後が「実施計画」であります。

2ページの紫の部分でございます。

これは基本計画の事業を受け、事業費を示した中で具体的な実施事業を定める計画であります。

計画期間は3ヵ年でありまして、毎年ローリング方式でその都度、事業計画・事業費を見直しをしていくものであります。

この「実施計画」が各年度の予算編成の基本となるもので、このなかでは3ヵ年の財源計画いわゆる税を含めた歳入も計画のなかにとりいれて、より現実的な計画となるわけであります。

これは毎年、9月頃作成し、その後の予算編成の元となってきます。

この実施計画については本日お持ちをしておりますませんが、碧南市のホームページではご覧いただけますので、よろしく願いをいたしたいと存じます。

以上が、非常に省略させていただきましたが、第5次碧南市総合計画のご説明とさせていただきます。

市長は年頭の訓示にもありましたが、この第5次碧南市総合計画の推進のため、常々、CSの推進 これは市民満足度の推進であります、さらにC P コストパフォーマンスの向上を掲げております。

平成20年秋からのリーマンショックの影響を受け、本市の歳入も大幅な落ち込んだわけですが、本年度より「行財政戦略プラン」というものを作成し、行財政改革の更なる推進・無駄の削除などを事業別に洗い出す作業も始めました。

今までは、どちらかというとも景気の好調さを受け、右肩上がりの行政推進でありましたが、どうした状況においても持続可能な行政運営を図るために今後も努力してまいりたいと存じます。

ロータリークラブの皆様におかれましては、あらゆる機会で本当にお世話になります。どうぞよろしくご理解を賜りますようお願いを申し上げます、甚だ雑ばくな、とりとめのない説明でありましたが終わらせていただきます。

ご静聴真にありがとうございました。

次回例会案内 平成23年3月2日（水）

卓話「私の履歴書」

新入会員 堀 敦君、栗山 章君